

日本映画で初の快挙 第 96 回アカデミー賞視覚効果賞 『ゴジラ-1.0』ノミネートのお知らせ

『ゴジラ-1.0』が「第 96 回アカデミー賞 視覚効果賞」にノミネートされましたのでお知らせいたします。

11 月 3 日（金・祝）に封切られた本作は、まさしく“ゴジラ級”の大ヒットを記録いたしました。1 月 12 日（金）からはモノクロ映像版『ゴジラ-1.0/C』（ゴジラマイナスワン／マイナスカラー）も公開し、国内で 1 月 21 日（日）までの 80 日間で観客動員 348 万人、興行収入 54.5 億円を突破しております。北米では 1 月 21 日（日）までの 52 日間で興行収入 5,189 万ドル（＝約 76.7 億円※）を超え、現在、日本興収も含めた全世界興収では 1 億ドルを突破しました。（※現時点のレートで換算）

そのような本作は国内外の多数の映画賞を席卷。数々の映画賞にノミネートされ、15 以上の受賞をする快挙を成し遂げ、アメリカで開催される世界最高峰の映画賞「第 96 回アカデミー賞」へのノミネートが有力視されていましたがこの度、その「第 96 回アカデミー賞」において『ゴジラ-1.0』が「視覚効果賞」にノミネートされました。また、同賞のノミネートは日本映画で初めてとなります。

「第 96 回アカデミー賞 授賞式」は現地時間 3 月 10 日（日）にアメリカ・ロサンゼルスドルビー・シアターで開催。山崎監督と白組スタッフが授賞式に参加する予定です。長い歴史を持つ「アカデミー賞」の中で、監督として「視覚効果賞」を受賞したのは『2001 年宇宙の旅』のスタンリー・キューブリックのみです。山崎監督が受賞すれば 55 年ぶり、史上 2 人目の受賞監督となります。また、同賞を日本映画・アジア映画が受賞した実績はなく、映画の歴史を変える史上初の快挙にも期待がかかります。

当社グループは今後も「Entertainment for YOU 世界中のお客様に 感動を」をスローガンとし、「健全な娯楽を広く大衆に提供すること」をパーパスに掲げ、世界規模のエンタテインメント企業として東宝のブランド価値向上と飛躍的な成長を目指します。

【作品概要】

- タイトル： 『ゴジラ-1.0』
英語表記：『GODZILLA MINUS ONE』
モノクロ映像版：『ゴジラ-1.0/C』
- キャスト： 神木隆之介 浜辺美波
山田裕貴 青木崇高
吉岡秀隆 安藤サクラ 佐々木蔵之介
- 監督 脚本 VFX： 山崎貴
■音楽： 佐藤直紀
- 制作プロダクション： TOHO スタジオ、ROBOT
- 配給： 東宝
- コピーライト： ©2023 TOHO CO., LTD.
- 公開日： 2023 年 11 月 3 日（金・祝）より全国の映画館にて大ヒット公開中

NEWS RELEASE



2024年1月24日
東宝株式会社

- ホームページ : <https://godzilla-movie2023.toho.co.jp>
- X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/godzilla231103>
- Instagram : <https://www.instagram.com/godzilla231103/>
- TikTok : <https://www.tiktok.com/@godzilla.toho>

以上

本件に関するお問い合わせ先
東宝株式会社 広報・IR室
pr_ir@toho.co.jp